

記入例

※対象児童生徒1人につき1枚とし、要請書と一緒に提出してください。

特別支援教育巡回相談フェイスシート

学級担任等、相談者氏名を記入する。

※相談したい内容等について○を書いてください。

(下北市立下北第一小学校)(氏名 海峡 花子)

障害種	年齢段階	支援内容	合理的配慮の観点		
			①-1-1	①-1-2	①-2-1
視覚障害	乳児期	子どもの学習のつまずきに関する支援			
聴覚障害	幼児期	子どもの行動上の問題に関する支援	○		○
盲ろう	小学校期	子どもの実態把握に関する支援	○		○
肢体不自由	中学校期	子どもの進路や就労に関する支援			
病弱・身体虚弱	高校期	子どもの心理面に関する支援			
言語障害	大学・成人期	学校システム・学級経営等に関する支援			
情緒障害	対象児童生徒の「年齢段階」に○	教育課程の編成に関する支援			
知的障害		教材・教育支援機器に関する支援			
知的障害を伴う自閉症		医療・福祉等、他機関との連携に関する支援			
高機能自閉症 アスペルガー症候群		保護者との連携に関する支援	○		○
ADHD		その他()			
LD	○				
重複障害					
その他					

対象児童生徒の「年齢段階」に○

対象児童生徒の「障害種」に○を書く。

対象児童生徒について相談したい「支援内容」に○を書く。

対象児童生徒について相談したい「合理的配慮の観点」に○を書く。

派遣要請書の「2 対象児童生徒」と対応させる。個人名は記載しない。

対象児童生徒の実態や現在の支援内容、支援を受けたい内容等についての詳細を記入する。必要に応じて、校内支援体制の概要を記入する。(巡回相談員が把握できるようにするため。)

【備考】
2(1)通常の学級 4年男子について

[実態]国語や算数の授業では、教室を立ち歩くことが多く、時に教室外に出ることがある。友達を不快にさせる言葉を発したりして、友達とトラブルになることがある。

[現在行っている支援内容]見通しをもてるように、1時間の学習内容を確認したり、課題に取り組む内容や順番を決めたりしながら授業を行っている。トラブルになったときの気持ちの落ち着かせ方を知らせている。

[校内支援体制の概況]校内支援委員会において、本児童の情報交換を行い、全職員で共通理解を図っている。保護者と面談はこれから設定する予定である。

[指導を受けたい内容]見通しをもてるよう支援しているが、突然教室を出てしまうことがあり、いつどのような時に出してしまうかがわからない。どのように児童の実態を把握したらよいのか。また、今後保護者との面談を設定しようと考えているが、保護者と面談を行う際の留意点は何か。